

第 38 回 夕張川流域会議 議事要旨

日時：令和元年 11 月 5 日（火）13：10～16：30

現地視察：夕張川中・下流域（樹木伐採計画地、馬追橋付近）

意見交換：雨煙別小学校 コカコーラ環境ハウス



<主な意見>

<魚類調査結果について>

- ・水量が少なく栗沢頭首工右岸にサケが溜まり遡上できない。
- ・8月に遡上したサケの産卵床が7～9カ所、頭首工下流に7カ所ある。水量が増えると遡上する。
- ・雨煙別川は、岩盤露出区間が多く産卵可能地が1カ所くらいで適地に砂利投入という話がある。
- ・この川の礫は、粒径が小さいので直ぐに産卵床がわからなくなってしまふ。
- ・サクラマスは雨煙別川に遡上するが、水量が少なくて上流に遡上できない。雨煙別学校の裏で3カ所産卵床があるがサクラマスとヤマメがペアで産卵している。

- ・サケは、8月末から9月初めに数尾確認した。9月中旬の雨煙別川の清掃時にも確認した。
- ・10月25日頃からサケを再確認、多い時で約10尾だ。モクズガニも構造物で遡上できていない。
- ・清幌床止めの魚道は、補助魚道が閉塞している。他の魚種の移動もあるので対応してほしい。
- ・河川協力団体等は事故に留意し河川事務所には届けるようにしたい。流域で関心を持ってもらい、河川事務所と協力し合っていくと良い。

- ・補助魚道の閉塞について、施工方法を検討中だ。施工方法が決定後に対応する。
- ・市民団体から引き続き情報頂ければ有難い。産卵床の話も含めて情報共有させて頂きたい。

- ・前回会議後、長沼頭首工下流部の砂州樹木を伐採して頂いた。また栗由大橋左岸も伐採してもらい感謝している。

- ・長沼頭首工下流右岸は深掘れしているので、砂州を掘削して川幅を広げていきたい。
- ・NPO等が利用しつつ、河川事務所とともに管理していく形になれば良い。

- ・長沼頭首工下流部砂州は、地盤が高く相当な水量でなければ、上を流れないだろう。
 - ・頭首工直下の砂州上流端右岸側がサクラマスの産卵場、下流端がサケ産卵場だ。今年は上流端1カ所にサクラマスの産卵床があっただけである。
 - ・部分的に現況の川幅より広くして構造物を造るので砂州ができる。下流側にある程度の水流がないと砂州は増々伸びる。
 - ・滞筋が固定化され変化の少ない一定水量の川なので、今度川づくりを提案したい。
-
- ・栗沢頭首工下流の左岸側も中州がある。河床低下が激しいが良い砂利が堆積している。
 - ・直近の課題ではないが、うまく水が流れ良い川になるように検討の場を設けてほしい。
-
- ・当初の栗沢頭首工は今の一段目で1m程度の落差だった。堆積している砂利があるのでこれらが川に出てくれば良い産卵場になる。魚類調査でカワヤツメの確認はないか。
-
- ・カワヤツメ属が、阿野呂川合流点で2尾確認されている。
-
- ・清幌床止めの下流はカワヤツメが相当産卵しているはずである。

＜その他、情報提供＞

- ・平成24年、ハサンベツ川の支流が氾濫した。町の復旧工事後、土砂流出を防止する工事を市民参加で行った。子供たちが体験学習できる場づくりもしているので手伝いに来てほしい。
 - ・ハサンベツ川に市民工事で魚道を造り、ハサンベツ川と夕張川、石狩川を繋ぐ活動を意識した。清幌床止め、栗沢頭首工に魚道が整備され72年ぶりにサケが遡上した。
 - ・雨煙別川では、国、道の支援を頂いているが、まだゴミが多くきれいな川にする活動は続ける。
-
- ・夕張川の河道整正箇所は、今後伐採を進めて行き、作業進捗等の情報提供を継続する。泥炭採取予定地についても同様情報提供していく。
 - ・清幌床止めの補助魚道について、河川事務所は引き続き施工方法を検討し、市民、民間団体から情報提供等のフォローをお願いしたい。
 - ・今後の魚類調査については、最新情報を提供していきたい。また栗沢頭首工の河床低下についても検討していきたい。
 - ・馬追橋架橋工事時に出る砂利の利用について、河川事務所で調整できる部分については、関係機関への協力をお願いしていきたい。

第 38 回 夕張川流域会議

日 時：令和元年 11 月 5 日(火) 13：10～16：30

現地視察：夕張川中・下流域

意見交換：雨煙別小学校 コカコーラ環境ハウス

次 第

1. 集 合 13：10 雨煙別小学校 コカコーラ環境ハウス

※出 発 13：15

挨 拶．江別河川事務所長（移動車中）

概略説明．事務局（移動車中）

2. 現地視察 13：55～15：20

・夕張川中・下流域

◇夕張川河道整正箇所 13：55～14：30（35分）

◇馬追橋上下流域 15：05～15：20（15分）

3. 意見交換 15：30～16：30（60分） 雨煙別小学校 コカコーラ環境ハウス

1) 事務局より（夕張川河道整正状況等） 資料-2・3・4・5

2) 意見交換

3) その他

4. 閉 会 16：30

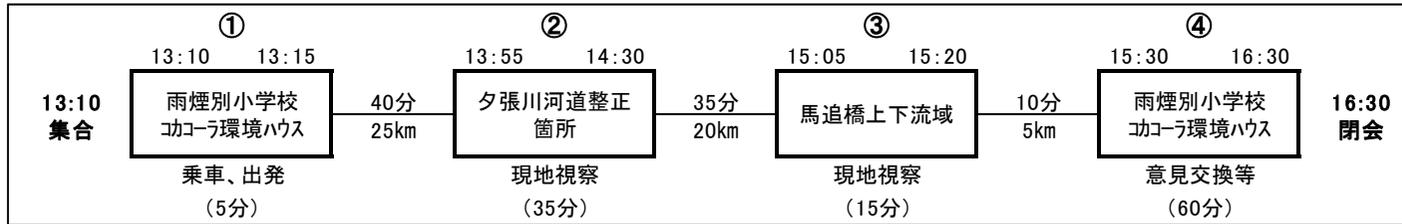
「第38回夕張川流域会議」 委員出席者名簿

委員御氏名	所 属	備 考	出 欠
妹尾 優二	流域生態研究所長		○
飯田 修久	水土里ネット由仁(由仁土地改良区)理事長		×
諸橋 淳	おっ鳥クラブ		○
上野 千春	栗山オオムラサキの会		○
高橋 慎	栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会実行委員長		○
久保 和英	河川愛護団体 リバーネット21ながぬま		×
千葉 光弘	夕張川なんでも探検隊		×
菊池 孝太	社団法人 栗山青年会議所		○
杉本 伸二	夕張川自然再生協議会 事務局長		○
近藤 長一郎	ふらっと南幌 代表理事		×
小松 憲幸	江別市 建設部土木事務所治水課長	代理出席：矢幅 拓也 (同 治水係長)	○
尾暮 靖志	南幌町 都市整備課長	代理出席：三浦 裕一 (同 主幹)	○
柏 雅美	長沼町 都市整備課長	代理出席：安達 史恭 (同 参事)	○
牧 孝信	岩見沢市 建設部 事務担当次長		○
岩花 司	由仁町 建設水道課長		○
片山 伸治	栗山町 建設課 建設総括兼課長		○
熊谷 修	夕張市 土木水道課長		×
中條 悟	北海道札幌建設管理部 長沼出張所長		○
八幡 和則	北海道札幌建設管理部 岩見沢出張所 施設保全室長		○
久野 俊一	夕張川ダム総合管理事務所長		○
林 利行	江別河川事務所長		○

※敬称略

委員出席者合計＝ 16名

第 38 回夕張川流域会議 現地視察行程



②夕張川河道整正箇所



①, ④雨煙別小学校 ココロ環境ハウス

③馬追橋上下流域

「夕張川流域会議」規約

(名称)

第1条 本会議を、「夕張川流域会議」（以下「流域会議」という）と称する。

(目的)

第2条 流域会議は、夕張川のあるべき姿を見据え、流域における川づくりのあり方について意見交換し、今後の川づくりに生かしていくものとする。

(組織)

第3条 流域会議は座長、副座長及び委員をもって組織する。

2 委員は、前年度委員からの引継ぎを基本とし、江別河川事務所長が委員名簿を作成する。

3 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

4 座長、副座長は委員の互選により選出する。

5 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときには、副座長がその職務を代行する。

6 流域会議の意見交換や勉強会等のテーマによっては、関係する団体や講師の招へい及びオブザーバーの参加を認める。

(議事等)

第4条 流域会議は、座長が招集する。

2 座長は、流域会議の運営、審議を総括する。

(事務局)

第5条 流域会議の事務局は、江別河川事務所と夕張川ダム総合管理事務所管理課に置く。

2 事務局は、流域会議の運営に必要な事務を処理する。

(雑則)

第6条 この規約に定めるもののほか、流域会議の運営に関する必要な事項は、座長が流域会議に諮り定める。

(附則)

この規約は平成19年10月4日をもって成立適用する。

(附則)

この規約は平成23年2月17日をもって成立適用する。

(附則)

この規約は平成28年2月10日をもって成立適用する。

(附則)

この規約は平成30年7月25日をもって成立適用する。